TOPGEAR®　　2012/1 Ver.1.00

ローラーポジションインジケーター
ROLLER POSITION INDICATOR［HR-S43］
【～'07 アドレスV125/G (K5～K7)】

車種専用ハーネスキット
取扱説明書

※ CF4EAIには［HR-S41］が、CF4MAIには［HR-S42］が適合致します。

セット内容

●専用ハーネス x1　●PG-110スピード信号変換機　●PG-220回転信号発生器
●PG-110アルミステー　●マグネット、ドーナツ型テープ x各4　●チェック用LED
●エレクトロタップ(赤) x1　●タイラップ長 (297mm) x2 , 短 (142mm) x5

本製品にはローラーポジションジケーター本体は含まれません。
別売りの【RPI-110】¥9,800(税込)が必要です。

注意事項

●本説明書はアドレスV125G(K6)に対応する内容で記載致しております。
　車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
●RPIメーター本体の裏面にはスイッチがあります。
　付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
●取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での
　取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
●本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は
　一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
●製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用
　について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

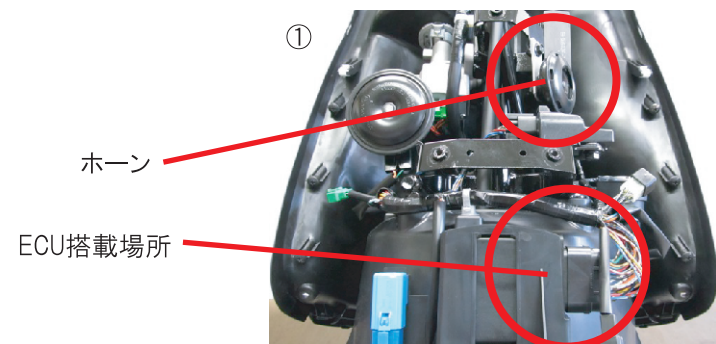
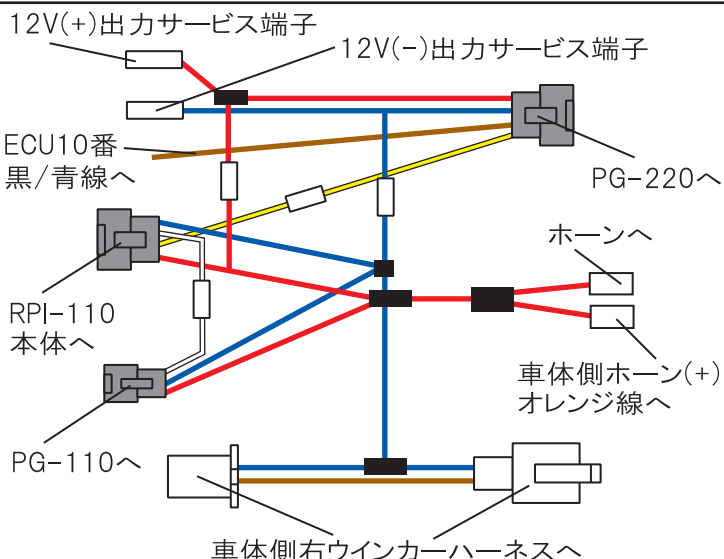
取り付け方法

※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してください。

【取り付け作業の準備】

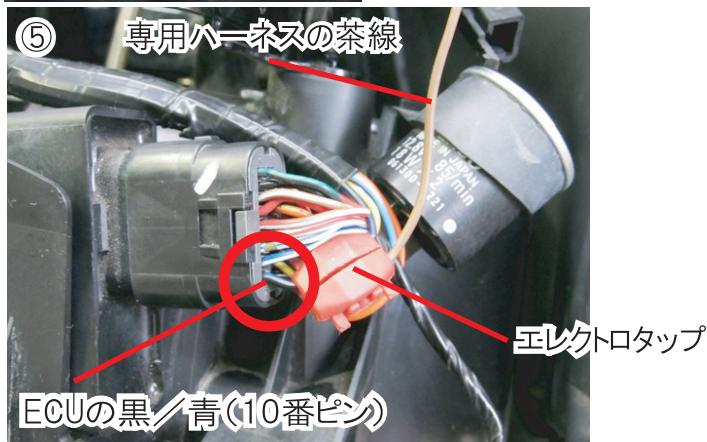
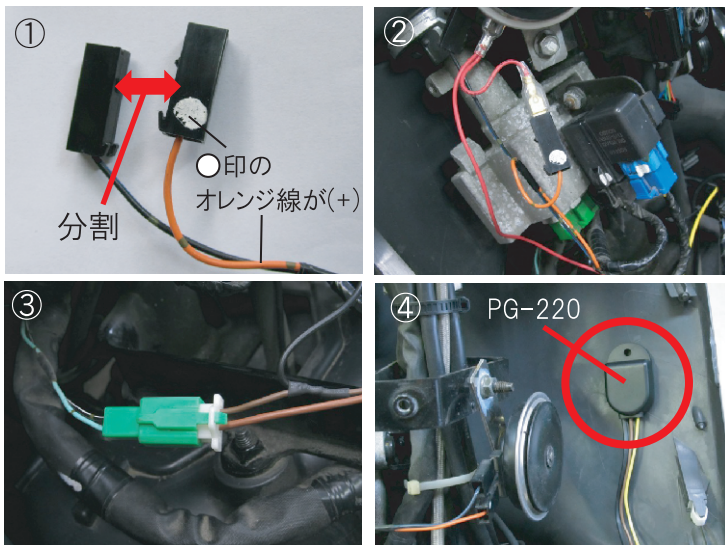
※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。
①フロントカバーを外します。

専用ハーネスの各部への接続先

12V(+)出力サービス端子
12V(-)出力サービス端子
ECU10番 黒/青線へ
PG-220へ
ホーンへ
RPI-110 本体へ
車体側ホーン(+) オレンジ線へ
PG-110へ
車体側右ウインカーハーネスへ

【専用ハーネスの取り付け】

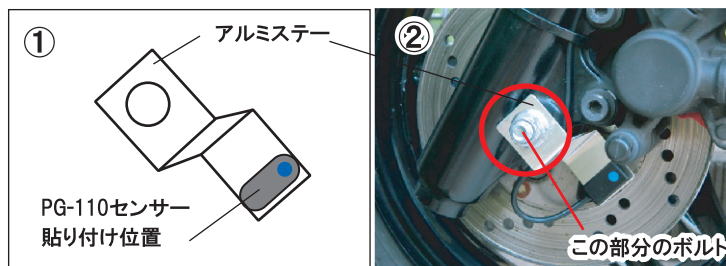
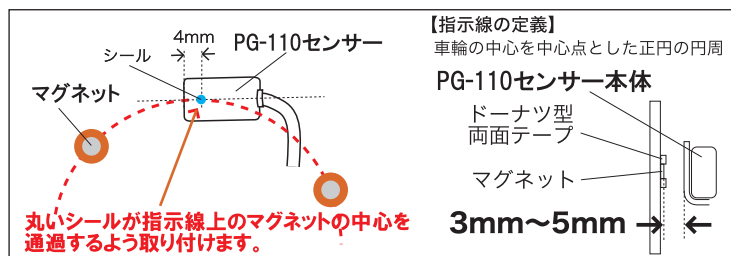
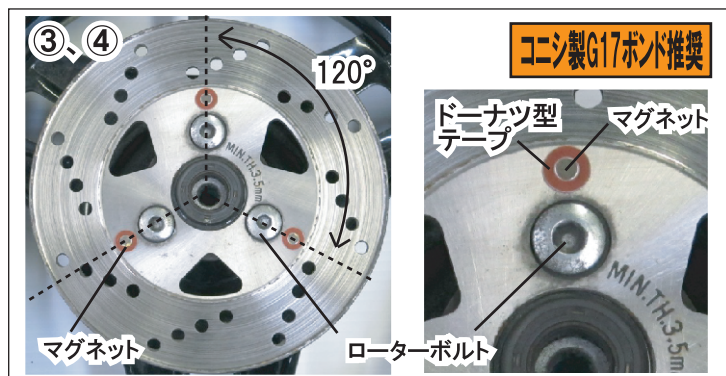
①ホーンから黒いカプラーを外し、左右に分割します。
②赤線(平端子)をホーンと車体側オレンジ線の間に割込ませます。
　ホーンの黒線は元の位置に戻します。
③専用ハーネス2Pカプラーを右ウインカー配線へ割込ませます。
④PG-220を貼り付け専用ハーネスの4Pカプラーと接続します。
⑤専用ハーネスの茶色線をECU10番ピンの黒/青線へ
　エレクトロタップを使用して接続します。

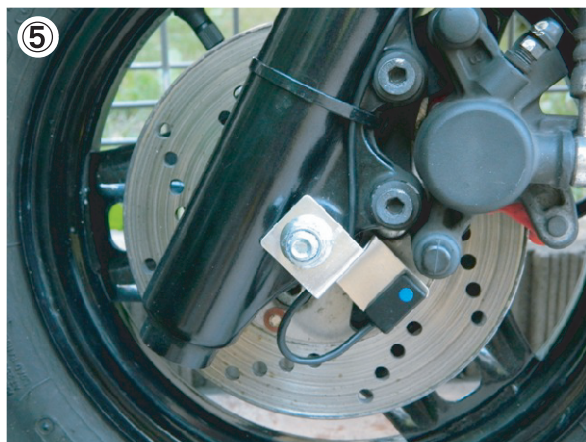
※ECU17番ピンにも同じ黒/青線がありますのでご注意ください。

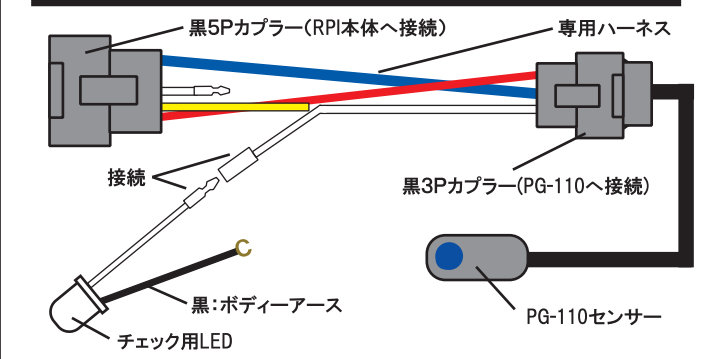
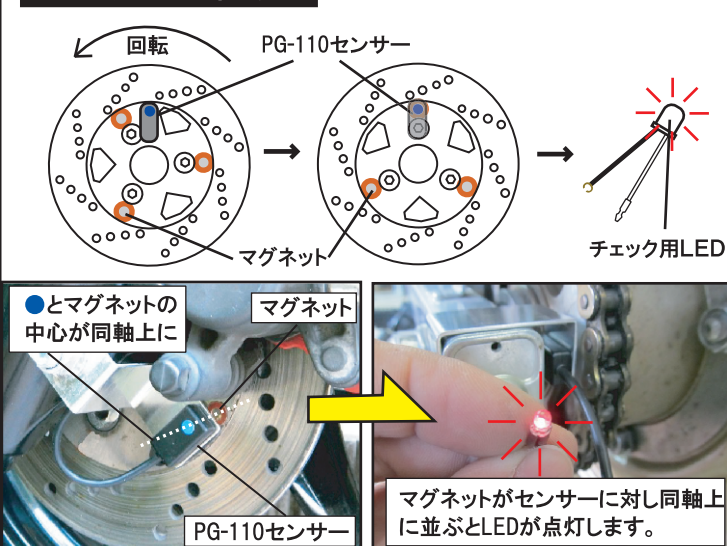
※12V(+)出力サービス端子は、弊社[盗難警報機CS-550]の
　接続を始め、アクセサリー電源として多目的に活用頂けます。
　また、アドレスV125/Gはボディアースの導通がございません。
　12V(-)出力のサービス端子(オスギボシ青線)をご活用ください

【RPI本体の取り付け】

①メーター周りのお好みの位置にRPI-110本体を両面テープ
　を使って貼り付けます。
※ ハンドルを左右に切った際、専用ハーネスやRPI本体の配線に
　無理な力が加わらないよう取り回し、タイラップで固定してください。
※ 後ほどローラーポジション設定 並びに、REVインジケーターの
　設定を行いますので仮付けにしてください。
②RPI-110本体コードをフロントカバー内の専用ハーネスまで通し、
　専用ハーネスの5Pカプラーと接続します。

【PG-110 スピード信号センサーの取り付け】

①PG-110センサーをアルミステーへ貼り付けます。
②PG-110センサー用アルミステーを画像の赤丸で示したアクスルシャフトで共締めします。PG-110センサーとマグネットとの隙間は3～5mmの範囲で調整します。

下の枠内の注意点を参考に
フロントディスクローターにマグネットを3箇所貼付けます。

③ドーナツ型のガイドテープを120° 間隔で貼ります。
④マグネットを市販の金属用ボンド使って貼り付けます。
※マグネットは必ずホイール中心部に対し120° になるように等間隔に配置します。ローターディスクピンが120° 間隔に3つありますので、それを目安にしてください。

⑤PG-110のコードはフロントフォークやブレーキホースに沿ってタイラップで縛り、巻き込みやストローク時に引っ張られないように取り回し、専用ハーネスまで通します。
※コードに無理なストレスが加わらないように取り回してください。

⑥PG-110センサー3Pカプラーを専用ハーネスの3Pカプラーへ接続してください。余ったコードは束ねてタイラップで結束します。

【PG-110センサーとマグネットの位置をチェック】

①専用ハーネスの黒5Pカプラーと、黒3Pを繋いでいる白線のギボシ端子を外し、チェック用LEDの白線を黒3Pカプラーの白線(メスギボシ側)へ接続します。
②アドレスV125/Gはグランド(−)が車体と導通してませんので、チェック用LEDのもう一方の線(青または黒)は必ずバッテリーのマイナス側へ接続してください。
③イグニッションキーONにし、フロントホイールをゆっくり回転させ、マグネットがPG-110センサーを通過する時にLEDが点灯し、通り過ぎたら消える事を全てのマグネットにて確認してください。全て点灯していれば正常です。

イグニッションキーをONにし、フロントホイールをゆっくりと回転させます。PG-110センサーの青丸シール部分とマグネットを同軸上に合わせるとチェック用のLEDが点灯します。
※12Vの電源が取れていないとチェック用LEDは点灯しません。

※全てのマグネットにおいてLEDが点灯しない場合は電源が入っていないか、センサーとマグネットの間隔が離れすぎているか、位置が合っていませんので、マグネットを貼り直し再調整してください。
※チェック終了後はチェック用のLEDを外し、必ず専用ハーネス白線のギボシ同士を接続してください。
※チェック用LEDは12vの電圧で点灯致しますので、チェック終了後多目的にご利用頂けます。

■フロントカウル内に専用ハーネスなどの各配線類を収納し、フロントカウルを元に戻して完了です。

ローラーポジション及び、REVインジケーターの登録方法や、エラー表示の詳細は、別売りのローラーポジションインジケーター(RPI-110)の取扱説明書をご覧ください